2026 年度	カリキュラム　科目概要				実務家教員	担当教師	荒井　文恵	
学年	2年	授業名	服飾造形Ⅱ			単位数	1	単位
科	ファッション科	講義	演習	実習	実技	コマ数	14	コマ
コース	FS	10%	0%	90%	0%	授業期間	後期	
概要	FAとして店頭を意識した既製服の仕様やテクニックを理解し工程分析を学びながら縫製技術を理解していきます。オリジナルデザインを表現できるようにクリエイション力を高めていきます。							
到達目標	家庭用ミシンとロックミシンの扱いに慣れ、様々な素材の知識を習得し扱えるようにします。縫製に関する基本的な技術を習得し、服の構造を理解してよい製品を見極める力をつけていきます。							
実務家教員	縫製工場で経験した、服飾造形の知識と縫製技術と工業用パターンの知識を活かし、ミシンの正しい使い方と、デザインの意図を正確に理解して実物化できる基本的な技術力を習得する科目							

コマ数	授業日	内容
1	8/25	２年次オリエンテーション(授業説明) 家庭用ミシン、ロックミシン（糸掛け、糸調子、試し縫い）の扱い方　ミシン縫い基礎練習
2	9/1	テクニック基礎①　シーチングを使って見本制作 フリル　プリーツ　タックの違い・種類など　　フリル2種類、ギャザー2種類を作る
3	9/8	テクニック基礎②　シーチングを使って見本制作 タックのアレンジ2種類、ピンタック、手縫いスナップ釦付け
4	9/15	洋服の構造について理解する① トップスの種類　ボトムの種類　　スーツの各部位の名称　ジャケットの解体
5	9/29	洋服の構造について理解する② ジャケットの解体　裏地をはずす　裏地の役割　どのような縫い方になっているか
6	10/6	洋服の構造について理解する③ ジャケットの解体　　袖の形（袖口の作り方など）　身頃の立体感（芯地の役割）
7	10/13	洋服の構造について理解する④ ジャケットの解体　まとめ　アイロン　　パーツの名称、使用素材を理解する
8	10/20	パンツの制作①　ウエストゴム仕様　脇ポケットあり 進行表記入　パターン　線の引き方、縫い代の付け方を理解する　　【生地発注】
9	10/27	パンツの制作②　ウエストゴム仕様　脇ポケットあり パターン　線の引き方、縫い代の付け方、印の付け方を理解する
10	11/10	パンツの制作③　ウエストゴム仕様　脇ポケットあり 裁断　地の目の確認　正しいはさみの使い方
11	11/17	パンツの制作④ 縫製　ポケットを作る　形、仕組みを理解する
12	11/24	パンツの制作⑤ 縫製　脇と股下を縫う　まっすぐ縫う、アイロンの扱い
13	12/1	パンツの制作⑥ 縫製　股ぐりを縫う　ベルトを付ける
14	12/8	パンツの制作⑦ 縫製　裾を縫う　仕上げ(ゴムを通す）アイロン　進行表記入

コマ数	授業日	内容
評価方法		課題制作品提出(納期・技術力・表現力・クオリティetc.)、出席状況、学習態度を総合評価
主要教材		オリジナル教材　パターン付きブック
資格・検定		

校長	教務	担当教師